

●湿潤療法（モイストケア）とは

傷を治すためには「傷を乾かさない」ことが大切です。生きている細胞は乾燥すると死にます。傷から出てくる浸出液に、傷を治すために必要な細胞が豊富に含まれています。傷を乾かすことは傷の治りを遅らせることになるのです。湿潤療法とは、傷を早く治すために最善の環境で傷口に集まった細胞が活発に活動できるようにすることです。

持参のお願い

外傷・湿疹・とびひなどの皮膚の病気でガーゼ保護等をしてきた場合は、万が一濡れた時・とれた時の交換のためにガーゼや絆創膏・テープなどをご用意ください。

ガーゼ・テープ類はクラス・名前を書いた袋に入れてお持ちください。

⑨薬について



保育園ではお薬をお預かりしていません。具合が悪い時はゆっくりと休養することが一番です。薬で無理に熱を下げて、登園することなどないようにしてください。

以前に熱性けいれんの既往があり、発熱時、けいれん止めの座薬を使用する必要がある方は医師の指示に基づいてお預かりしますのでご相談ください。面談を行い、薬および発症時の対応アレルギー疾患や慢性疾患などで、やむを得ず、園での与薬が必要な時には前日までに看護師にご相談ください。

【ホクナリンテープ（気管支拡張剤）の使用について】

○ホクナリンテープを貼って登園する場合、連絡帳に記載していただくか、職員にお知らせください。

★貼る場所はお子様の手の届きにくい背中などに貼るようにしましょう。

○はがれおちないようにしましょう（紙テープ等で保護しましょう）。

○園ではがれてしまった場合の貼りなおしはしません。

○ホクナリンテープを貼っている日はプールに入れません。

※ はがれた場合の症状の悪化や、落ちたテープを他児が口に入れてしまう等の事故を防ぐためにもご協力をお願いします。



⑩持病（喘息 熱性けいれん 心臓病など）と食物アレルギーについて

園での生活において、注意を要したり、配慮が必要な病気をお持ちの方は事前にお知らせください。適宜、話し合いを持ち、確認させていただきます。